

娠に対しメソトレキセート（以下 MTX）を局注、高濃度ブドウ糖液を局注、子宮動脈塞栓術（以下 UAE）を施行し、その後正常妊娠に至った 3 症例を経験したので報告する。

**【方法・結果】** 症例 1 は 37 歳、0 経妊 0 経産。最終月経より 5 週、血中 hCG 2,621 U/l であるにも関わらず子宮内に胎嚢を認めず、異所性妊娠を疑われ当院紹介受診。経腔超音波断層法で子宮内腔と離れた子宮頸部内に胎嚢と、胎嚢内に卵黄嚢と心拍を有する胎芽を認め、子宮頸管妊娠と診断。保存的療法として MTX 局注療法を行った。経腔超音波ガイド下に胎嚢内容物を吸引し、MTX 25 mg を局注した。局所注射後 hCG は下降を始め、10 日目頃から尿中 hCG・血中 hCG ともに速やかに低下した。14 日目に外子宮口より胎嚢の自然排出を認めた。また、MTX による副作用は認めなかった。治療後月経の再開を認め、自然妊娠成立。現在明らかな異常なく経過観察である。

症例 2 は、0 経妊 0 経産。最終月経より 8 週にて来院。症例 1 と同様に経腔超音波ガイド下に保存的療法として高濃度ブドウ糖液を局注を施行した。治療後 2 ヶ月後月経の再開を認め、その後自然妊娠成立し生児を得た。

症例 3 は、0 経妊 0 経産。最終月経より 6 週にて前医にて子宮内容除去術を施行。大量出血にて当院救急搬送となった。経腔超音波にて頸管妊娠と判断し、大量出血と高度貧血の為緊急処置が必要と判断し UAE を施行。その後自然妊娠成立した。

**【結語】** 今回、子宮頸管妊娠に対し異なる治療法を施行し、その後正常妊娠となった 3 例を経験した。子宮頸管妊娠に対しては確率された治療法がないのが現状であり、本症例のような任孕能を希望する場合、様々な治療法を選択する事は有用であると考えられた。

### P3-57.

#### The effect of busulfan on the immune system and spermatogenesis in immune-competent mice

(Department of Anatomy, Tokyo Medical University)

○Yoshie Hirayanagi, Ning Qu, Shuichi Hirai

Munekazu Naito, Miyuki Kitaoka, Shogo Hayashi

Naoyuki Hatayama and Masahiro Itoh

Testicular cells transplantation has been experimentally used to investigate the biology of spermatogonial stem cells (SSCs), production of transgenic animals, and restoration of fertility in rodent models. In general, congenitally immunodeficient mice such as scid or athymic nude mice have been used as recipients of xenogenic SSCs. Recently, we demonstrated that the rat spermatogenesis can occur in seminiferous tubules of recipient mice after transplantation of the rat SSCs. For the successful transplantation, busulfan (Myleran, 1, 4-butane-diol methanesulfonate, 40 mg/kg) is injected to the recipients for depletion of endogenous germ cells before the donor SSCs transplantation. Considering the immunosuppressive effect of busulfan, we studied the immune function of busulfan-treated recipient mice in the present study to know whether the success of xenogenic spermatogenesis in the recipients is dependent on busulfan-induced immunosuppression or not.

### P3-58.

#### 東京医科大学第 1 学年「医学入門」7 年間のまとめ

(化学)

○荒井 貞夫

(皮膚科学)

坪井 良治

(健康増進スポーツ医学)

勝村 俊仁

(脳神経外科学)

原岡 襄

(小児科学)

宮島 祐

東京医科大学第 1 学年では、長年にわたり「医学